



わくわく 出水南

発行：校長 上妻 薫

3学期 始業式 校長挨拶（一部抜粋）

おはようございます。新しい年2024年、令和6年になって初めて皆さんと会うので、あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひします。

皆さんもニュースや新聞で知っているとと思いますが、1月1日午後4時10分は、石川県能登半島を中心に地震が起きました。また、2日の夕方には、羽田空港で、飛行機の衝突事故が起こり、物資を石川に運ぶ海上保安庁の飛行機に乗っていた5人の方が亡くなりました。本当に、悲しい気持ちになりました。そんなとき、1月2日に、マレーシアの先生からメールが届きました。皆様の安全と幸福を祈る」というものでした。世界が繋がっているということを実感するとともに、世界中の人たちが日本のことを応援してくれていると思いました。

マレーシアは、どこにあるか知っていますか。日本の南の国です。日本では、日本語を話すのと同じように、マレーシアの言葉は、マレー語です。マレーシアの学校では、日本と同じように、英語を学びます。日本語も学んでいる学校があります。

このように、他の国の人とやりとりするには、英語は便利だと思いましたが。気持ちを伝えるには、言葉は大事だと思いました。3年生から上の学年の皆さんは、英語を学んでいます。なぜ、英語を学ぶのでしょうか？（隣の人と話してみてください。）

そうですね。

このように、世界の人とつながるために、そして、お互いを理解するためには、言葉は必要だと思いました。世界の人たちと気持ちを伝えあうには、言葉は必要です。世界で使われている言葉を全部使えたら、それは、とても素晴らしいです。みんなの中には、将来、そんな人が出てくるかもしれません・・・全部は難しいので、日本語と英語が使うことができれば、世界の人とつながることが、1つの言語だけよりも、つながることができそうです。

今回のことでは、日本を励ましてくれているマレーシアの先生の言葉がとても、心に響きました。このように、世界の人たちと、励まし合っていけたら、戦争は起こらないなと思ひました。

皆さんも、まずは、近くにいるお友達と優しい言葉を交わして、この3学期を仲良く過ごしてほしいと思います。わたしたちは、一人では、生きていけません。まずは、近くにいるお友達と、そして、世界の人たちとも、仲良くできるように、英語はもとより、いろいろなことにはしっかりと励んでほしいと思います。

3学期は、何日でしょう。50日しかありません。あつというまにたつてしまいます。一日一日を大切に思いやりの心をもって過ごしていきましょう。

1月14日日曜日は、出水南校区まちづくり推進委員会主催の「どんどや」があります。推進委員の方々が、校区の推進委員の皆様の準備をしてくださっています。当日は、午前9時30分開会、午前10時点火、12時に終了の予定です。皆さんのご参加をお待ちしています。準備物（正月用のお飾り、餅、書初めなど）



「どんどや」は、「正月飾りや書初めなどを焼いた煙で体を清めること」で一年の無病息災を願う」という意味がありました。古いものを清め新しい年を迎える日本文化の一つです。